

講座番号 <b>B07</b>	講座名：
	<b>貞山運河の成り立ちと生き物観察</b>
講師名：宮城教育大学 理科教育講座 棟方 有宗	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
	○	○	○	○	○

実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仙台市貞山運河（新掘）</li> <li>・ 新浜</li> <li>・ 荒浜等 から選択</li> </ul>
------	---

対応人数	10-30名
所要時間	2時間程度
受講者が準備するもの	長靴、タオル、着替え、ノート

参考教科 ※1	小3～小6 理科
参考 SDGs※2	  

※1 小学校で利用する際に参考となる学習指導要領の該当科目

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	貞山運河の成り立ちを学び、そこに暮らす魚やカニなどを実際にとって観察します。
講座内容	<p>貞山運河は伊達政宗公の時代から整備が始まり、明治時代に完成した人工の水路です。かつては船で安定的に物資を運搬するための物流ネットワークの役割を担っていましたが、近年では運河の構造が生み出した豊かな環境や、そこに暮らす生物の多様性に注目が集まっています。</p> <p>本講座では、季節に応じて観察される、貞山運河に暮らすハゼなどの魚類やカニなどの甲殻類などの生き物を網などの道具を使って採集し、それらの種類や形、動きについて学修します。</p> <p>また、運河の周辺にも目を向け、周囲の防潮林に生えている松などの植物や運河に飛来する水鳥の様子も観察します。もちろん、姿を現す生き物は季節や天候によっても変化しますので、講座ではこうした生き物の出現種の変化の理由についても、周囲の環境との関係から考えます。</p>
講師よりコメント	貞山運河には、人工の水路とは思えないほどの豊かな環境があり、多くの魚やカニなどの生物が暮らしていますので、短い時間ですがその一部にでも触れていただくことができると思っています。
備考	